

サブロー寒天培地（混釈用寒天培地）

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

このサブロー寒天培地は検体中の好氣的条件下で発育可能な中温性の真菌を迅速に発育させ定量的に測定することができます。

2. 概要

サブロー寒天培地は主に医薬品・化粧品の微生物試験に用いられます。真菌の無菌検査や限度試験（総真菌数）の把握及び病原性、非病原性真菌の分離に使用する培地です。

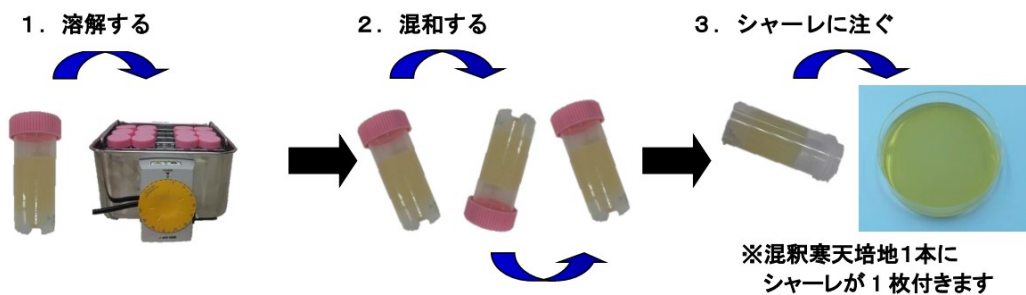
3. 使用方法

3-1 95℃程度で30分ほど湯せんします。

3-2 湯せん後、45℃～50℃の培地溶液に試料を添加して混和し、これをシャーレに静かに流し入れます。

（シャーレに試料を入れておいて、湯せんした培地溶液を流し込んでも、混釈できます。）

※ 使用法（お徳用シャーレ付ACM）



※ お徳用 ACM のひと箱に湯せん用フロッターがサービスで添付されています。



4. 培地の保管方法

培地は、常温の暗所で保管して下さい。

5. 試験成績書

以下のページは、培地性能の参考資料です。各ロットには、このような試験成績書が添付されます。

試験成績書

製品番号 ACM027

製品名 サブロー寒天培地
(混釈寒天培地)

製造番号 L09CB

使用期限 2022年3月5日



マイクロバイオ株式会社

品質管理部

八嶋 範明

〈性状試験〉

試験項目	規格	判定
外観	淡黄茶色な培地 異物を認めない	適合
pH	5.6±0.2	適合
無菌試験	菌の発育を認めない (25±2°C 7日間)	適合

〈培養試験〉

試験菌株		接種菌数	培養温度	培養時間	判定
<i>Candida albicans</i>	NBRC 1594	100CFU 以下	24°C	48時間	接種菌の出現集落数は、標準化された菌液の計測値の1/2～2倍以内。有効性が確認された培地/バッチで以前に得られた発育と同等の発育を認める。
<i>Aspergillus brasiliensis</i>	NBRC 9455	100CFU 以下	24°C	72時間	

〈合否判定〉

総合判定日	2021年12月16日	総合判定	適合
-------	-------------	------	----

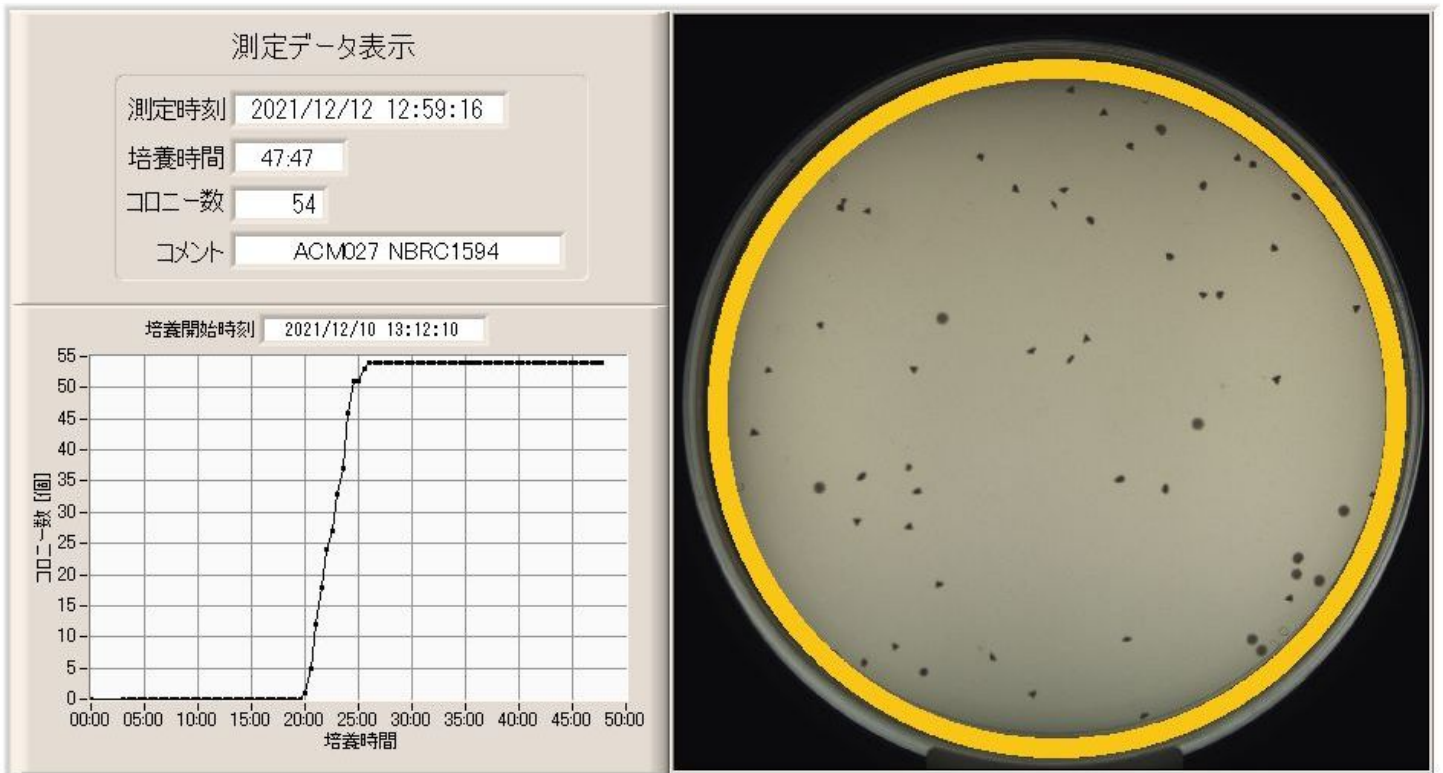


図1. 標準菌株 *Candida albicans* NBRC 1594 の発育画像

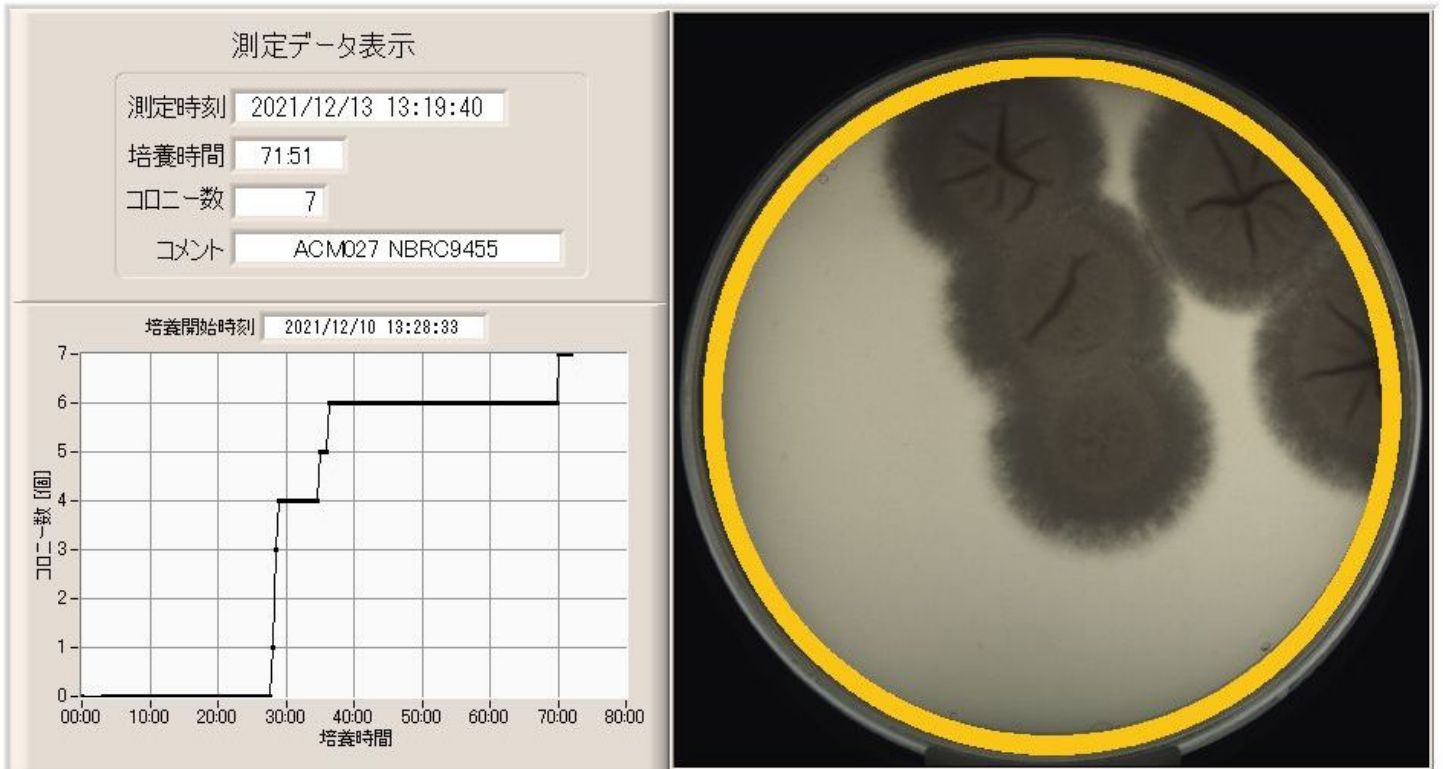


図2. 標準菌株 *Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455 の発育画像